

第 53 期

# 中間事業報告書

(平成17年4月1日～平成17年9月30日)



**岩塚製薬株式会社**

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成17年4月1日から平成17年9月30日に至る当社グループの第53期上半期の営業の概況と中間決算につきまして、ここにご報告申し上げます。

## 営業の概況

当上半期における我が国経済は、企業の設備投資と個人消費の牽引により、景気は回復基調で推移しましたが原油価格の高騰、年金問題など先行きの不透明感は依然として根強く、本格的な景気回復には至りませんでした。

米菓業界におきましては、需要が伸び悩む中、消費者の商品選択の目は一層厳しさを増し、メーカー間の競争もますます熾烈を極めております。更に、デフレからの脱却が進みつつある中、原油価格の高騰は、企業収益を圧迫する大きな要因となりました。

このような状況の中で、当社グループ各社は、今期「お客様の信頼に応え、おいしさの感動を届けよう」を全社のスローガンに掲げ、顧客満足の向上に努めてまいりました。そのために、当社グループでは経営の基本方針の柱であるNPS（ニュープロダクションシステム）の全社展開の強化を図るとともに、基本姿勢である「高品質・鮮度第一主義」を貫いてまいりました。

営業部門におきましては、大都市圏でのシェア拡大に注力し、売上面で相応の成果を上げることができました。更に、三回目を数える「田んぼオーナー体験プレゼント」や「ふわっとキャラクターネーミング大募集」などの販売促進活動を通じ、消費者とのコミュニケーションを図ってまいりました。

製造部門におきましては、ラインの見直しによる品質の向上・省人化設備の導入等により、生産性向上と原価低減を図ってまいりました。他方、環境保全の観点からコージェネレーション設備を導入し、省エネルギーとCO<sub>2</sub>の削減にも取り組んでまいりました。しかし、原

油価格の高騰による燃料費や包装材料費等の価格上昇は予想をはるかに超えるもので、結果、原価に及ぼす影響は少なからぬものがあります。

開発部門におきましては、本年2月に岩塚製菓ブランドで発売した新商品「新潟ぬれおかき」が順調に売上を伸ばし、当社のトップ商品「黒豆せんべい」に迫る勢いで推移しております。成熟した米菓市場において、このような新しい市場を創造する商品開発とともに「黒豆」「黒糖」「ごま」等の健康素材を用い、安全・安心はもとより本物志向といった市場のニーズに対応した商品開発もあわせて進めてまいりました。

以上の結果、当上半期の連結業績は、売上高93億26百万円（前年同期比2.5%増）、経常利益は77百万円（前年同期比59.9%減）、中間純利益は23百万円（前年同期比72.7%減）となりました。

下半期の見通しにつきましては、景気は緩やかながら回復基調にあります。基本的には上半期と同様の厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような厳しい環境に対応するため、当社グループでは経営方針の柱である「NPSの全社展開」を進めてまいります。収益力の改善につきましては、商品別の原価管理を強化し、採算性向上への機動的な対応をおこなうとともに、商品別販売施策の徹底を図り、生産性の向上や品質の安定性を高めてまいります。

また、本年11月に飯塚新工場が稼動したことにより、生産能力と効率の向上を図ることができます。更に、来年3月にはR&D・Mセンターが完成することにより、研究開発とマーケティング機能の集約を図り、消費者ニーズを捉えたタイムリーな商品開発とその充実に取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

代表取締役社長 榎 春夫

# 中間連結貸借対照表（平成17年9月30日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	4,512,897	流動負債	2,573,240
現金及び預金	1,205,736	買掛金	570,419
受取手形及び売掛金	2,505,726	短期借入金	250,000
たな卸資産	432,561	一年以内返済 予定の長期借入金	552,000
その他	382,629	賞与引当金	366,782
貸倒引当金	13,755	その他	834,038
固定資産	15,450,448	固定負債	5,265,245
有形固定資産	6,633,307	長期借入金	1,948,000
建物及び構築物	3,159,523	退職給付引当金	1,010,599
機械装置及び運搬具	1,290,944	役員退職慰労引当金	91,137
建設仮勘定	1,248,970	持分法適用に伴う負債	35,974
その他	933,869	繰延税金負債	2,179,534
無形固定資産	19,838	負債合計	7,838,486
投資その他の資産	8,797,302	少数株主持分	
投資有価証券	8,546,543	少数株主持分	39,378
その他	269,194	資本の部	
貸倒引当金	18,434	資本金	1,634,750
		資本剰余金	1,859,250
		利益剰余金	4,758,786
		株式等評価差額金	3,922,448
		為替換算調整勘定	32,375
		自己株式	57,378
		資本合計	12,085,482
資産合計	19,963,346	負債、少数株主持分 及び資本合計	19,963,346

（連結貸借対照表の注記）

- 1．有形固定資産の減価償却累計額 10,876,662千円  
2．保証債務額 100,000千円

# 中間連結損益計算書 (平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
経常損益の部		
営業損益の部		
売上高		9,326,483
売上原価	6,306,040	
販売費及び一般管理費	3,175,888	9,481,928
営業損失		155,445
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息	367	
受取配当金	215,113	
その他の営業外収益	39,530	255,011
営業外費用		
支払利息	4,865	
持分法による投資損失	12,070	
為替差損	2,238	
その他の営業外費用	2,996	22,170
経常利益		77,396
特別損益の部		
特別利益		
投資有価証券売却益	40,925	
償却債権取立益	86	41,012
特別損失		
固定資産除却損	5,019	
ゴルフ会員権評価損	29,897	
その他の特別損失	3,216	38,133
税金等調整前中間純利益		80,274
法人税、住民税及び事業税	94,946	
法人税等調整額	38,241	56,705
少数株主損失		403
中間純利益		23,972

(連結損益計算書の注記)

1株当たり中間純利益

4円04銭

## 中間貸借対照表（平成17年9月30日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	3,967,318	流動負債	2,490,971
現金及び預金	799,747	買掛金	565,540
受取手形	262,556	短期借入金	250,000
売掛金	2,165,659	一年以内返済 予定の長期借入金	552,000
たな卸資産	413,658	未払法人税等	102,562
その他	336,452	賞与引当金	339,023
貸倒引当金	10,756	その他	681,844
固定資産	15,498,332	固定負債	5,161,781
有形固定資産	6,045,772	長期借入金	1,948,000
建物	2,814,794	退職給付引当金	955,319
機械及び装置	1,068,619	役員退職慰労引当金	78,927
土地	713,530	繰延税金負債	2,179,534
建設仮勘定	1,248,970	負債合計	7,652,753
その他	199,858	資 本 の 部	
無形固定資産	14,223	資本金	1,634,750
投資その他の資産	9,438,336	資本剰余金	1,859,250
投資有価証券	8,546,543	資本準備金	1,859,250
その他	909,903	利益剰余金	4,453,827
貸倒引当金	18,110	利益準備金	101,437
		任意積立金	4,235,000
		中間未処分利益	117,389
		株式等評価差額金	3,922,448
		自己株式	57,378
		資本合計	11,812,897
資産合計	19,465,651	負債資本合計	19,465,651

- （注）1．記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。  
 2．子会社に対する短期金銭債権 64,578千円  
 3．子会社に対する短期金銭債務 24,765千円  
 4．保証債務 100,000千円  
 5．有形固定資産の減価償却累計額 10,560,066千円

# 中間損益計算書(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
経常損益の部		
営業損益の部		
売 上 高		8,769,005
売 上 原 価	6,206,323	
販売費及び一般管理費	2,708,820	8,915,143
営 業 損 失		146,138
営業外損益の部		
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	108	
受 取 配 当 金	217,563	
その他の営業外収益	42,342	260,015
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	5,038	
その他の営業外費用	2,200	7,238
経 常 利 益		106,638
特別損益の部		
特 別 利 益		40,925
特 別 損 失		37,918
税引前中間純利益		109,644
法人税、住民税及び事業税	88,124	
法人税等調整額	28,339	59,784
中 間 純 利 益		49,860
前 期 繰 越 利 益		67,529
中 間 未 処 分 利 益		117,389

(注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 子会社との取引高

    売 上 高 1,064,779千円

    売 上 原 価 144,691千円

    販売費及び一般管理費 11,386千円

    営業取引以外の取引高(収入高) 3,444千円

    営業取引以外の取引高(支払高) 173千円

3. 1株当たり中間純利益 8円41銭

## 会社の概要 (平成17年9月30日現在)

商号	岩塚製菓株式会社
英文名称	IWATSUKA CONFECTIONERY CO.,LTD.
代表者	代表取締役社長 榎 春夫
主要な事業内容	米菓の製造販売
本社設立	新潟県長岡市浦9750番地 昭和29年4月27日
資本金	16億3,475万円
従業員数	802名(男 437名、女 365名) 他に、準社員・嘱託及びパートタイマーが158名おります。
主要製品名	黒豆せんべい・新潟ぬれおかき・味しらべ・大袖振豆もち・きなこ餅・ソフト豆もちサラダ 等
主要な事業所	工場：飯塚、沢下条(第一・第二・第三・第四)、中沢、千歳、長岡、岡山 支店：札幌、仙台、東京東、東京西、名古屋、大阪 社員研修センター
子会社	株式会社瑞花 株式会社新潟味のれん本舗 株式会社越後抄 瀋陽岩旺米粉製造有限公司

## 取締役及び監査役 (平成17年9月30日現在)

代表取締役社長	榎	春	夫
取締役	中	静	治
取締役	村	田	雄
取締役	田	村	一
取締役	丹	羽	夫
取締役	郷	正	夫
常勤監査役	布	文	夫
監査役	神	芳	夫
監査役	佐	輝	稔
監査役	藤	英	一
監査役	塚		勇



## 株式の状況

(平成17年9月30日現在)

### 株式の総数

会社が発行する株式の総数	18,000,000株
発行済株式の総数	5,995,000株

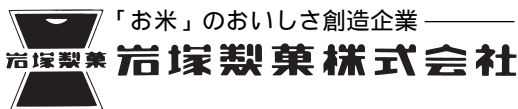
株主総数 3,913名

### 大株主

株主名	持株数	出資比率
株式会社紀文食品	305,000 株	5.08 %
株式会社すかいらーく	305,000	5.08
株式会社北越銀行	296,500	4.94
岩塚製菓共栄会	285,500	4.76
平石毅一	269,346	4.49
岩塚製菓従業員持株会	237,800	3.96
榎政男	235,805	3.93
株式会社第四銀行	200,000	3.33
榎キク	162,619	2.71
株式会社魚沼運輸	105,000	1.75

## 株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主確定日	株主配当金 毎年3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
株式事務取扱場所 名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(お問合せ先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
1単元の株式の数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞 当社は決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社ホームページに掲載しております。 ( <a href="http://www.iwatsukaseika.co.jp/">http://www.iwatsukaseika.co.jp/</a> )



〒949-5492  
新潟県長岡市浦9750番地